

# PRIMUS® P-156S

## プリムス・ウルトラスパイダーストープⅢ

### カートリッジガスこんろ(分離型)

#### 屋外使用専用 取扱説明書

●この製品はアウトドア用に開発された屋外使用専用の分離型カートリッジガスこんろです。●ご使用中は大量に酸素を消費しますので屋内、車内、テント内では絶対に使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死する危険があります。●屋外であっても換気の悪い場所(洞窟、窪地等)では十分に注意してご使用ください。●使用中、使用直後は器具が大変熱くなっておりますので、火傷には十分ご注意ください。また、お子様の手を触れないようご注意ください。●キャンプ等で実際にご使用になる前に必ず器具と容器(ガスカートリッジ)が正常に動作することを確認してから持参してください。●本製品には圧電点火装置は付属しておりません。実際の山行やキャンプでは、必ずマッチやライター(電子着火式でないもの)を携帯してください。●P-156Sは2~4人用を想定して設計されていますので、大型の鍋やヤカン等は使用できません。必ず小~中型の鍋等をご使用ください。●過酷な使い方、特殊なご使用をされますとケガや火災など思わぬ事故の原因となったり、本体が焼損する恐れがあります。

この度は、プリムス・ウルトラスパイダーストープⅢ(P-156S)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みいただいた後はいつでもご覧になれる場所に保管してください。また、ご使用になる前に容器(ガスカートリッジ)に表示されている注意事項も必ずお読みください。

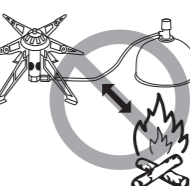
#### ■本製品をご使用いただく際に、特に注意していただきたいこと

### 警告

本製品は屋外専用です。屋内、テント内、車内では絶対に使用しない。  
一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死する恐れがあります。風通しが良く、周囲に引火物・可燃物のない場所でご使用ください。



市販のセラミック製品や鉄板、焼き網などをシングルバーナーに絶対に使用しない。  
輻射熱が下方向にも放出し、ホースが加熱され爆発する恐れがあります。また、ダッチオーブンやスモーカー(燻製器)にも使用しないでください。



引火物、可燃物の近くで使用しない。  
引火や加熱により爆発する恐れがありますので、必ず2m以上離して使用してください。また、防水スプレー、殺虫剤などのエアゾール製品も引火の危険があるため絶対に使用しないでください。



火をつけたままそばを離れない。  
本製品に火をつけたままそばを離れると思わぬ事故の原因となりますので、必ず消火してから離れるようにしてください。特にお子様が居るそばでは十分にご注意ください。



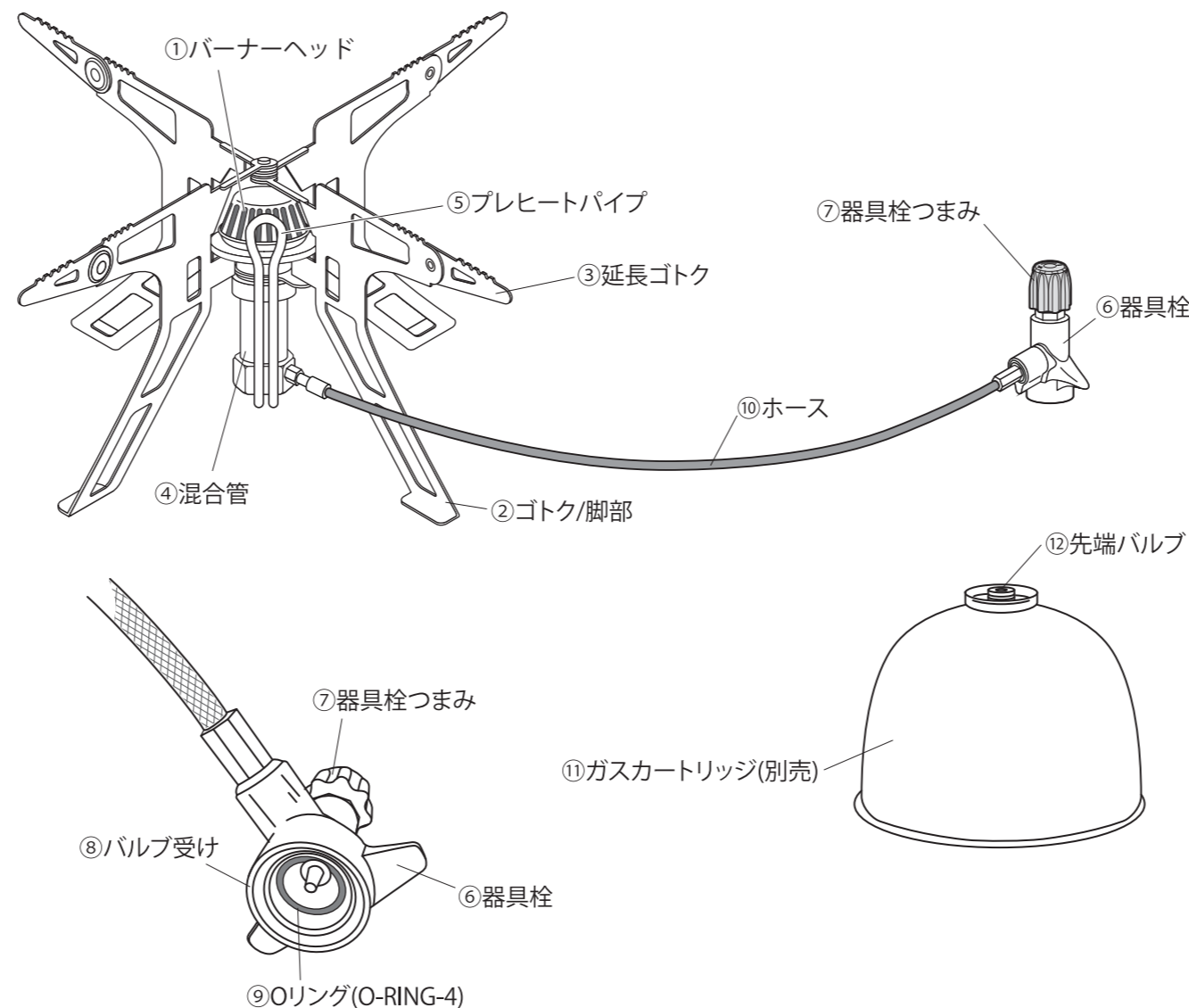
バーナーを市販の風防、天ぶらガードや石などで絶対に囲まないでください。排熱が滞留し、ガスカートリッジが加熱され爆発する危険があります。また、接続部やホースに使用されているゴム部品を破損しガス漏れを引き起こす恐れがあります。

火気の近くでは使用しない。火気や熱源からの輻射熱により、ガスカートリッジが加熱され、爆発する危険があります。

ガスカートリッジの装着は器具を垂直に、また締めすぎないように行ってください。斜めに傾けているとガスが勢いよく噴出し危険です。また、ねじ込む際に過大な力で締め込むとガス漏れや故障の原因となります。

バーナーをこんろ以外の目的に使用しない。  
本製品は暖房器具ではありません。暖房や衣類の乾燥など、本来の使用目的と異なった使い方は思わぬ事故(火災、一酸化炭素中毒死、窒息死等)につながる恐れがあります。

#### □各部の名称と働き

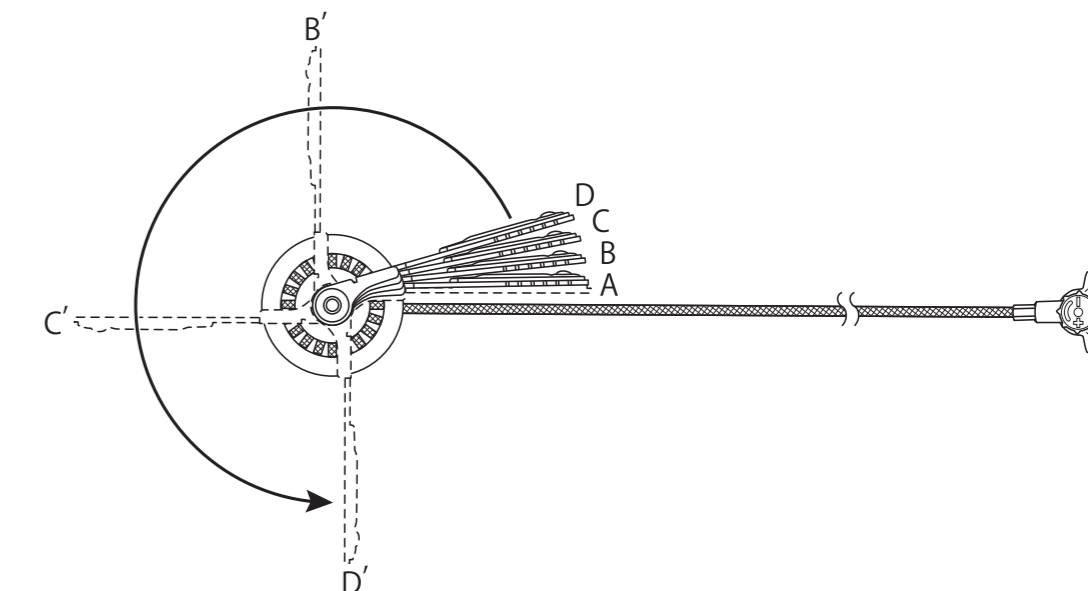


①バーナーヘッド	空気と混合されたガスを燃焼する部分
②ゴトク/脚部	回転して収納可能な4枚ゴトク兼用脚部
③延長ゴトク	直径120mmのゴトクを170mmまで延長するゴトク
④混合管	ガスと空気を混合させる管(空気取り入れ孔)
⑤プレヒートパイプ	燃焼炎によりガスを強制的に気化する導管(強制気化機構)
⑥器具栓	ガス量を調節し、遮断する栓
⑦器具栓つまみ	ガス量の調節や遮断を操作するつまみ
⑧バルブ受け	ガスカートリッジを接続する受け口
⑨Oリング(O-RING-4)	ガスカートリッジと器具をシールする特殊ゴムパッキン
⑩ホース	ガスを器具栓からバーナーへ導くホース
⑪ガスカートリッジ	ガスが充填されている容器(別売)
⑫先端バルブ	器具を接続するためのカートリッジ側の弁

#### □器具(ストーブ)の使用方法

##### ■器具(ストーブ)の組み立て

1. 組み立てる前に、必ず器具栓部のバルブ受けやOリング等の箇所にごミ、ホコリ、砂等が付着していないことを確認してください。ある場合は取り除いてください。
2. 長時間ホースを曲げて保管していた場合は、ご使用時に曲げのクセをとるように、よく馴染ませてから使用してください。
3. 重なっている4枚のゴトク/脚部のうち3枚(B、C、D)を下図のようにロックされる場所(B、C、Dの位置)まで広げます。収納するときは3枚のゴトク/脚部を、ホース側に集めてください。



##### ■容器(ガスカートリッジ)の装着方法

1. 容器(ガスカートリッジ)のキャップを取り外します。  
※取り外したキャップは保管の際に必要ですので捨てないでください。
2. 器具栓つまみを右(マイナス方向/時計の回転方向)に回し、完全に閉じていることを確認してください。
3. 容器先端バルブが、こんろのバルブ受けに入るように正しくセットしねじ込みます。この時、無理にねじ込まず容器を回して自然に止まるよりややきつめ程度にねじ込んでください。また、容器は斜めにしなず必ず正立の状態です器具を取り付けてください。
4. 容器の装着が完了したら、必ず器具と容器が水平になる場所に設置してご使用ください。
5. 容器を接続した時に、本体のゴトクが全て接地し安定していることを確認してからご使用ください。

#### 注意

●容器(ガスカートリッジ)取り付け/取り外しの際は多少ガスが漏れます。容器を取り付ける前に器具栓つまみが完全に閉じていること、周囲に使用中の燃焼器具や火気が無いこと、容器を交換する場合は使用していたこんろが完全に消火していることを確認してから行ってください。  
●容器(ガスカートリッジ)内部は気層と液層に分かれており、通常は気層から出るガスを空気と混合して燃焼させます。ガスの残量確認のために容器を振ったり、落下等の衝撃を与えた後は、この気層と液層が不安定になり、こんろを取り付けて器具栓を開いた時に液状のガス(白い霧状の気化していないガス)がそのまま噴出することがあります。この液体のガスに着火しますと非常に大きな炎となり大変危険です。その場合は一旦消火して容器を平坦な場所に置き、2~3分ほど放置して容器内の気層と液層を安定させてからご使用ください。

#### 注意

●使用時は器具とガスカートリッジの距離を最低でも20cm以上離してご使用ください。●パワーブースター(加温器)は絶対に使用しないでください。●金属メッシュ被膜のガスホースを使用していますが、使用中、使用直後に直火やゴトクおよびバーナー部に接触させると、高温のためホースを破損する恐れがあり、とても危険ですので充分ご注意ください。また、器具が熱いうちはホースを本体に巻きつけて収納しないでください。●強制気化機構が装備されていますが、ガスカートリッジを倒した状態のご使用は大変危険ですので絶対にしないでください。●付属品以外の補助具は絶対に使用しないでください。●ホースは低温にも耐える素材を使用していますが、低温下でご使用の際にはホースが硬化していないか確認してください。硬化してしまうような極低温下では使用できない場合があります。●ホースのみを持ってこんろを持ち歩いたりしないでください。また、ホースをひねったり、ねじりの力が加わらないようご注意ください。また、収納時にホースを本体にきつく巻き付けないようご注意ください。●ホースや接合部のガス漏れ点検をする時は必ず石鹼水をご使用ください。炎を出しての点検は大変危険ですのでお止めください。

**注意** 火傷にご注意ください。使用中、使用直後は器具(特にバーナーヘッドやゴトク)が大変熱くなっています。

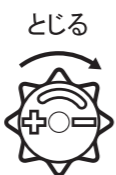
**ヤケド注意**

## ■操作のしかた

- 点火:器具栓つまみを左(プラス方向/時計の逆回転方向)へゆっくり回しながらライター等でバーナーに点火します。



- 使用中は大量の酸素を消費しますので、換気には十分ご注意ください。一酸化炭素中毒や酸欠による窒息死の危険があります。
- 点火の際は、バーナーを上からのぞき込まないでください。顔に火傷を負う危険があります。
- 点火の際は、必ず安定した地面等に置いて行ってください。



- 消火:器具栓つまみを右(マイナス方向/時計の回転方向)へ回し、火が消え、ガスが出る音が無くなるまで完全に閉じてください。この時、確実に消火したことを確認してください。

**注意** ●使用中に異常が発生した場合は消火措置等を取り、ただちに使用を中止してください。

## ■収納方法

1. 使用後は器具が熱くなっておりますので、収納する場合は必ず本体が十分冷めるまで待ってから行ってください。
  2. 器具栓が完全に閉じていること、器具が十分に冷めていることを確認し、器具から容器を取り外します。次に全てのゴトク/脚部をホース側に集約させてください。
- ※ホースは強く曲げないで大きな輪を作るようにして付属の収納ケースに収めてください。

## □異常時の処置

- 万一異常燃焼を起こした時や緊急の場合は、慌てずに器具栓つまみを閉じて消火してください。火力が増して消火が困難な場合や周囲のものに引火した場合は距離を置き絶対に近づかず、周囲の人を避難させてください。水や消火器等がある場合は放水や消火器による消火などの緊急処置をとってください。

## □故障・異常の見分け方と処置方法

故障かなと思ったら・・・次のことをお調べください。

故障・異常	点火しない(しにくい)	バーナーに火移りしない	炎が不揃い	火力が弱い	使用中に消火する	消火しない	処置方法
ガスが少なくなっている	○	○		○	○		容器を新しいものと交換する
バーナーの目詰まり	○	○	○	○	○		金属ブラシ等で詰まりをとる
ノズルの目詰まり	○	○		○			点検・清掃を依頼する
点火操作が不適切	○						正しい操作を行う
器具栓の故障	○	○				○*	点検・修理を依頼する

上記のことをお調べの上、なお異常がある場合や、お解りにならないときは、製品をお買い求めになった販売店もしくは当社までご連絡ください。

※周囲の安全に注意してガスが無くなるまで燃やし続けてください。この時、突然爆発する危険もありますので、周囲の人を避難させ、安易に近づかないようにしてください。火力が増す場合や周囲のものに引火した場合は、放水や消火器による消火等の緊急処置をとってください。

## □日常の点検・手入れ

- 定期的に器具の点検・手入れを必ず行ってください。
- 実際に登山やキャンプ等へお出かけになる前に、器具と容器を接続して正常に動作することを確認してください。また、この点検は必ず屋外で行ってください。
- ホースはご使用の度に特によく点検してください。金属(ステンレス)被膜が破けたときや、ホースが直角に折れ曲がってしまうような場合はガス漏れの危険がありますので使用を中止し、修理を依頼してください。
- 本体が雨や夜露で濡れたときや煮こぼれたときは「着火しない」「正常に燃焼しない」場合があります。特にバーナーヘッドの中まで水分が入ってしまった場合は着火させませんので、ご使用になる前に乾いた布等で水分を取り除き、充分乾燥させてからご使用ください。
- 実際の山行やキャンプでは不測の事態に備え予備の器具やガスカートリッジをご用意ください。
- 器具栓にあるOリング(ゴムパッキン)は消耗品です。経年劣化等で弾力が無くなりシール製が弱くなると、ガスカートリッジ接続時のガス漏れの原因となります。定期的に点検し、亀裂や磨耗等で老朽化している場合は速やかに、また通常の場合は1～2年に一度を目安に交換してください。Oリングの交換につきましてはお問い合わせになった販売店もしくは当社にご相談ください。
- 故障または破損したと思われる場合は即座に使用を中止し、お問い合わせになった販売店まで点検を依頼してください。
- お客様ご自身による修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お問い合わせになった販売店もしくは当社にご相談ください。

## □長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、各部の汚れを取り、付属のバッグに入れて湿気の少ない場所に保管してください。
- 取り外した容器は、キャップがついていることを確認してから、風通しの良い40℃以下の場所に保管し、時々点検して、缶にサビが発生している場合は出来るだけ早く使用してください。
- 器具と容器を接続したままの状態では保管する事は絶対にしないでください。
- 長期保管後に器具を再使用する場合は必ず器具が正常に動作することを確認してください。部品の劣化等で問題がある場合は即座に使用を中止し、お問い合わせになった販売店もしくは当社にご相談ください。

## □仕様

品名	カートリッジガスこんろ(分離型)
型 式 名	P-156S
ガス消費量	210g/h (IP-250T)
出 力	3.5kW / 3,000kcal/h
燃 焼 時 間	約60分(IP-250タイプガス使用時)
収納寸法	9.3×10.0×4.0cm
ゴトク直径	φ120mm/最大φ170mm
重 量	本体 192g
使用容器	IWATANI-PRIMUS「IP-250」「IP-500」

原産国：日本

## □アフターサービス

- お問い合わせ頂きました製品は万全を期しておりますが、万一不備な点がございましたらお問い合わせになった販売店もしくは下記までご連絡ください。
- この製品には生産物賠償責任保険がついています。ただし、他社製のガスカートリッジを使用した場合、再充填されたガスカートリッジを使用して発生した事故につきましては保証対象外となります。
- 製品の部品保有期間は、製造を終了した時点から5年間となります。
- この製品は付属品を含め、改良のために予告無く仕様を変更することがあります。
- 製品に添付されている製造番号が記載されている「銘板プレート」は正規品であり適合性検査を合格していることを証明するものですので、取り外したり捨てたりしないでください。「銘板プレート」のない製品は当社ではアフターサービスを提供できませんのでご注意ください。

## □経年劣化について

- 本製品の器具栓内部にはOリング以外にもゴム部品が使われています。ゴム部品は使用の頻度に関わらず、年月とともに劣化していきます。製品製造後、10年を目安に買い替えをご検討くださいますようお願い申し上げます。

## □連絡先

イワタニ・プリムス株式会社  
 東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-12-20 TEL:03-3555-5605 FAX :03-3555-5674  
 ホームページ：www.iwatani-primus.co.jp  
 イワタニ・プリムスお問合せ窓口：otoiwase@iwatani-primus.co.jp

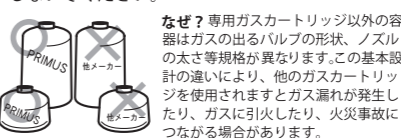
## 特に注意していただきたいこと

このページにはプリムスの燃焼器具(全般)をご使用になるための重要なことが説明されています。

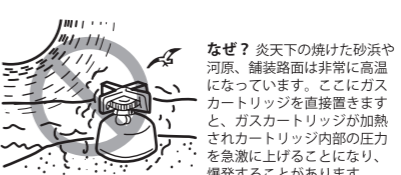
## ご使用前に

### 警告

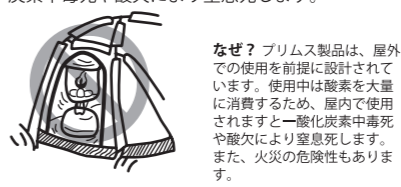
各燃焼器具にはIWATANI-PRIMUSまたはPRIMUSの表示のある「IP-250」もしくは「IP-500」の専用容器(ガスカートリッジ)を使用してください。その他の容器(ガスカートリッジ)は絶対に使用しないでください。



つけた砂(砂浜)や河原の上や舗装道路面等では使用及び放置しないでください。

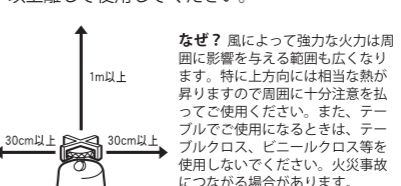


各燃焼器具は屋外専用です。屋内、テント、車内では絶対に使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死します。

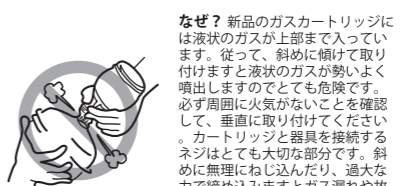


### 注意

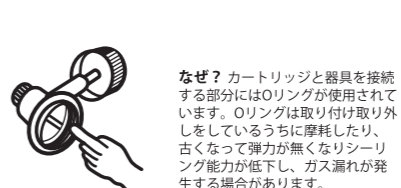
燃えやすいものから上部は1m以上、周囲30cm以上離して使用してください。



ガスカートリッジの装着はバルブを垂直に、また締めすぎないように行ってください。



バルブ(器具栓)内のリングは、時々点検し、切れ目があったり摩耗や劣化している場合は新しいものと交換してください。

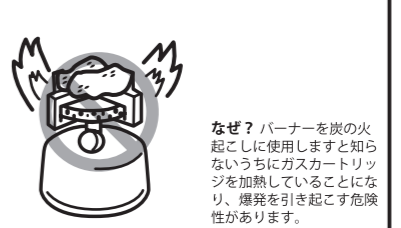


なぜ？火がついたまま持ち運ぶと、ガスカートリッジが揺られて異常に発熱することがあり、火傷する危険があります。また、保管中にショックが加わることで、ガスカートリッジの弾力性が低下し、ガス漏れが発生する場合があります。

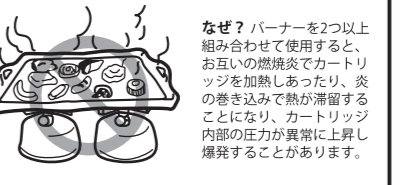
## ご使用中

### 警告

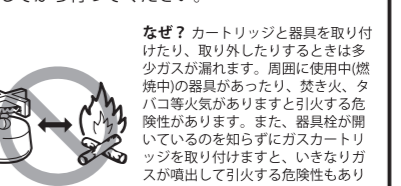
バーナーでの炭の火起こしは絶対にしないでください。



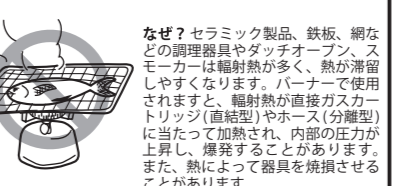
1つの調理器具に2つ以上のバーナーを使用しないでください。(片側のみ使用の場合は特に危険です。)



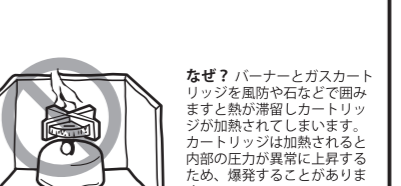
周囲に引火物、可燃物がないことを確認し、器具と容器(ガスカートリッジ)の取り付け取り外しは、必ず器具栓つまみが閉じていることを確認してから行ってください。



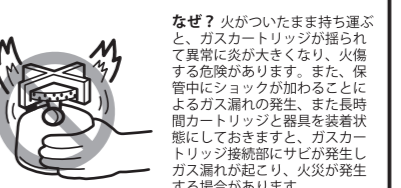
市販のセラミック製品や鉄板、網などをシングルバーナーに使用しないでください。また、ダッチオーブンやスモーカー(燻製器)にも使用しないでください。



バーナーを市販の風防、天ぶらガードや石などで絶対に囲まなくてください。



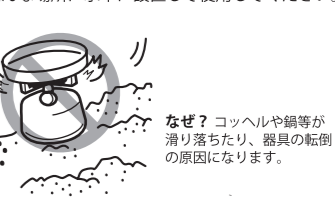
火がついたまま持ち運ばないでください。また、容器(ガスカートリッジ)をつけたま保管することは絶対にしないでください。



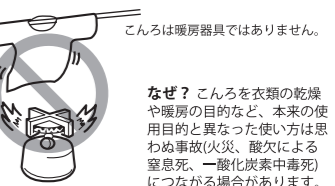
なぜ？火がついたまま持ち運ぶと、ガスカートリッジが揺られて異常に発熱することがあり、火傷する危険があります。また、保管中にショックが加わることで、ガスカートリッジの弾力性が低下し、ガス漏れが発生する場合があります。

## 注 意

必ず平たんな場所に水平に設置して使用してください。



なぜ？コッヘルや鍋等が落ちたり、器具の転倒の原因になります。

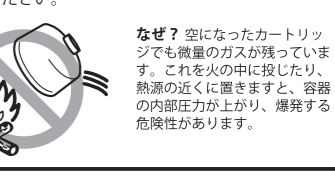


なぜ？こんろを衣服の乾燥や暖房の目的など、本来の使用目的と異なった使い方は思わぬ事故(火災、酸欠)による窒息死、一酸化炭素中毒死につながる場合があります。

## 保管および点検

### 警告

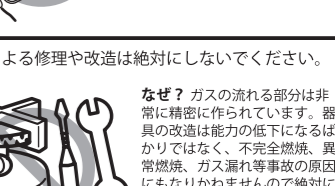
たとえ空になっても、容器(ガスカートリッジ)を火気や熱源(ヒーター、こんろ、ストーブ等)のそばに置かないでください。



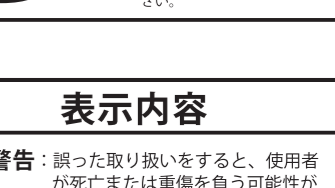
なぜ？空になったカートリッジでも残量のガスが残っています。これの火の中に投じたり、熱源の近くに置きますと、容器の内部圧力が上がり、爆発する危険性があります。

## 注 意

容器(ガスカートリッジ)は40℃以下の場所で保管してください。(法律によって規定されています。)



なぜ？外気温が上昇するとカートリッジ内の圧力が比例して上昇します。カートリッジを炎天下に放置したり、直射日光に当たる車内(トラックルーム含む)や室内に放置することも爆発の原因になります。



なぜ？ガスの濡れた部分は非常に脆化しています。器具の改造は能力の低下になるばかりではなく、不完全燃焼、異常燃焼、ガス漏れ等事故の原因にもなりかねませんので絶対にしないでください。修理に際しては販売店弊社等にご相談ください。

お客様による修理や改造は絶対にしないでください。

なぜ？火がついたまま持ち運ぶと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表す記号です。

なぜ？火がついたまま持ち運ぶと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される、および物的損害のみの発生が想定されることを表す記号です。

禁止マークです。